

新幼支第188号の2
令和6年6月3日

保 育 園 長 様
認 定 こ ど も 園 長 様
地域型保育事業施設長 様
認 可 外 保 育 施 設 長 様
病児・病後児保育事業施設長 様

新潟市こども未来部
幼保支援課長
(幼児教育・保育グループ)

事故集計報告（令和5年度分）について

日ごろより、園児の健康及び安全について十分ご配慮いただき感謝申し上げます。

保育施設におけるケガや事故の状況を把握するため、園児の事故発生状況をご報告いただいておりますが、この度、令和5年度に提出いただいた「災害報告書（市立）」「事故報告書（私立）」を集計し、年間の事故件数集計結果を別紙のとおりまとめました。年間の事故の傾向についてご確認いただき、事故予防の取り組みの参考にさせていただきますようお願いいたします。

◆問い合わせ先◆

新潟市こども未来部幼保支援課
幼児教育・保育グループ

TEL 025-226-1216

【事故報告件数(R5.4月～R6.3月)】

* 事故報告件数は、市立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業施設の合計

令和5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
報告件数(合計)*		134	159	145	116	123	123	147	152	123	115	144	137	1618
部位別※	頭	8	15	7	4	6	7	10	6	5	11	12	3	94
	額	4	14	7	7	2	10	7	10	9	6	10	9	95
	目・目の周り	31	20	20	10	16	13	23	21	17	9	16	16	212
	頬	10	6	4	5	5	4	8	15	19	11	1	8	96
	耳	1	1	0	1	1	1	4	1	1	3	2	1	17
	鼻	1	4	2	5	5	1	3	4	3	2	5	3	38
	歯・口腔・口の周り	49	55	51	43	44	42	45	55	32	33	50	48	547
	あご	6	6	7	2	5	2	5	4	6	3	7	1	54
	体幹	2	2	2	1	3	2	5	0	1	5	2	1	26
	上肢	18	22	27	27	25	30	29	29	19	24	28	36	314
	下肢	4	14	18	11	11	11	8	7	11	8	11	11	125
うち県・国への報告		0	2	3	0	1	1	0	2	0	1	3	1	14
令和4年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
報告件数(合計)*		112	124	163	133	70	153	152	135	133	115	117	128	1535
部位別※	骨折	4	8	2	6	5	13	10	9	7	3	2	9	78
	頭	7	9	11	8	4	8	4	5	3	3	7	5	74
	口・歯	35	33	50	50	22	39	45	42	45	48	43	41	493
	目・目の周り	10	10	24	13	7	26	23	26	13	12	16	17	197
	額	4	10	11	5	3	15	15	1	15	7	5	7	98
	鼻	5	2	2	1	2	3	7	7	3	1	2	2	37
	あご	4	3	4	4	4	3	2	3	3	6	2	2	40
	頬	12	8	14	5	6	5	7	8	7	11	6	9	98
	肘内障	11	16	16	15	6	11	12	17	10	8	6	10	138
	その他	20	25	29	26	11	30	27	17	27	16	28	26	282
うち県・国への報告		1	2	0	0	1	1	2	2	0	1	1	0	11

令和5年度の年間事故報告件数は、1618件でした。

昨年度と比較すると・・・

4年度 1535件

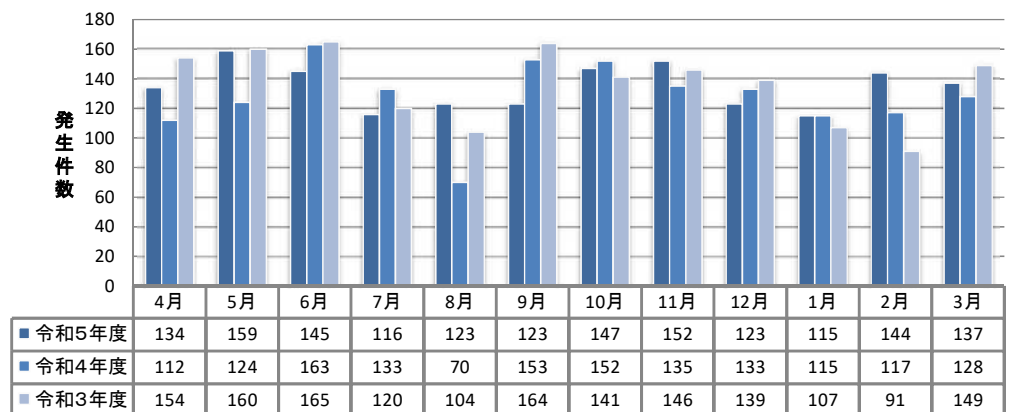
5年度 1618件

となっており、昨年度より83件増加しています。

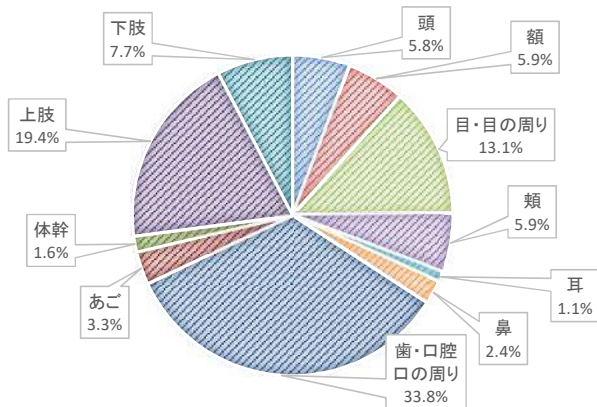
R5. 5月から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや秋から冬、例年に比べて暖かく、雪が少なかった天候に影響されたことが要因



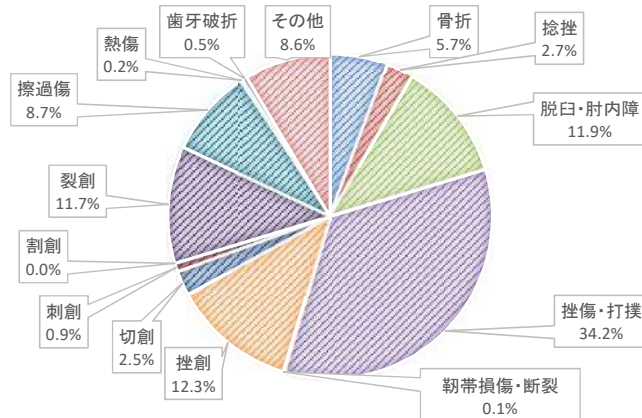
【月毎の事故報告件数】



【部位別事故件数の割合】 (R5.4月～R6.3月)



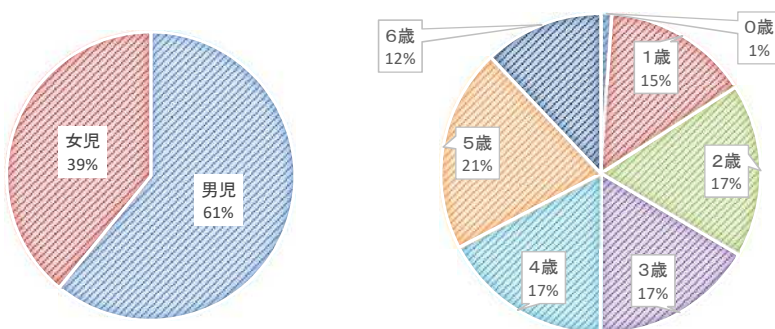
【負傷別事故件数の割合】 (R5.4月～R6.3月)



上記は、部位別事故件数の割合を示したグラフです。「歯・口腔・口の周り」「上肢」「目・目の周り」の順に多くなっており、65.5%が顔面のケガということがわかります。「歯・口腔・口の周り」は、打撲・唇や上唇小帯を切る、「上肢」は肘内障や骨折、「目・目の周り」は打撲傷や挫創が多く報告されています。

負傷別の割合をみると、「挫傷・打撲」が一番多く34.2%、次いで「挫創」12.3%、「脱臼・肘内障」11.9%、「裂創」が11.7%となっています。
挫傷・・・打撲傷など傷口ができていないケガ
挫創・・・傷口ができたケガ
裂創・・・皮膚が裂けてできた傷
切創・・・ガラスや刃物などで切断されたケガ
事故報告の際、負傷の種類を選択を間違えないようにしましょう。

【事故件数/男女比及び年齢比】 (R5.4月～R6.3月)

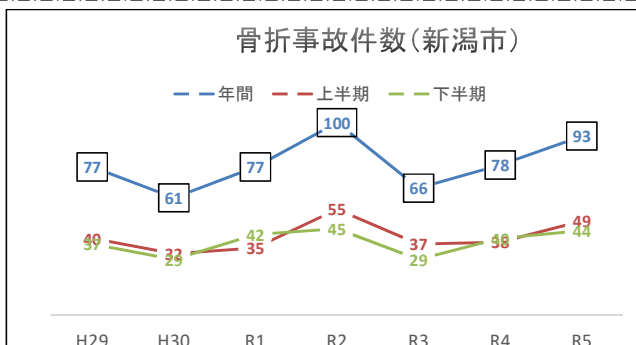
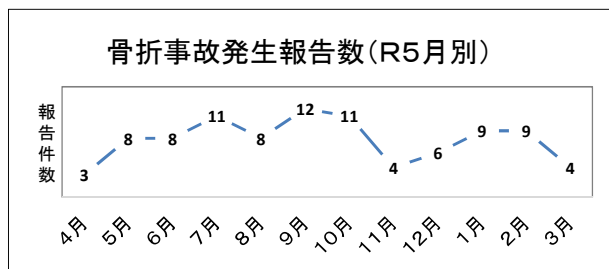


	男児	女児	計	年齢比
0歳	8	10	18	1%
1歳	158	82	240	16%
2歳	173	111	284	17%
3歳	163	105	268	16%
4歳	168	112	280	17%
5歳	202	131	333	24%
6歳	114	81	195	8%
計	986	632	1618	

男女比は、男児61%、女児39%でおおむね6:4の割合です。R3～R5は、まったく同じ割合でした。女児より男児の事故が多いというのは全国的な傾向でもあります。日頃から子どもたちの遊び方に注視していきましょう。

年齢による事故件数の差は、あまりありませんが(0歳を除く)、年齢が上がるとあそびもダイナミックになってくるので大きな事故が発生しやすいようです。骨折事故93件の年齢別内訳をみると、0歳-1件、1歳-6件、2歳-7件、3歳-10件、4歳-19件、5歳-30件、6歳-20件で大きな事故に繋がっていることがわかります。

【骨折事故について】



令和5年度上半期の骨折事故は49件、下半期は44件発生しています。
負傷別にみると6%ではありますが、年間93件は決して少ない数字ではないと思います。上のグラフは、R5年度の月別発生件数、右上のグラフは、H29～R5の年度別発生件数を示したものです。
R5年度は、R2年度の100件に次いで2番目に多い件数でした。
比較的軽度の骨折から手術を伴うものまで、その状況は幅広いのですが、いずれにしても、痛みを伴い、生活に支障が出てきます。どのような場面で骨折事故が発生しやすいのか、重大事故事例を参考に園でも検討してみましょう。

